

講座番号 B06	講座名：
	田んぼビオトープの生き物観察
講師名：宮城教育大学 理科教育講座 棟方 有宗	

対象者	未就学児	小学校1～3年	小学校4～6年	中高生	大人
	○	○	○	○	○

実施会場	<ul style="list-style-type: none"> ・宮城野区岡田新浜 ・カントリーパーク新浜 ・田んぼビオトープ
------	---

対応人数	15-35名
所要時間	2時間程度
受講者が準備するもの	長靴、タオル、着替え、ノート

参考教科 ※1	小3～小6 理科
参考SDGs※2	 

※1 小学校で利用する際に参考となる学習指導要領の該当科目

※2 参考となるSDGsのゴール

講座概要	新設された田んぼビオトープで行うメダカやトンボなどの生物観察と田んぼの農作業体験
講座内容	<p>仙台市の沿岸域では広瀬川の豊かな水と日当たりの良い平野の特性を生かした、自然と調和したお米作りが行われてきましたが、近年では大型機械の導入や圃場整備によって稲作の近代化が進み、かつては見られていたメダカやドジョウなどの田んぼの生き物たちがほとんど姿を消しています。</p> <p>宮城野区岡田新浜にあるカントリーパーク新浜の田んぼビオトープでは、かつての田んぼのように化学肥料や農薬を用いず、自然との調和を目指した稲作を行うとともに、メダカやミズアオイといった希少生物の保全を行う空間として、東日本大震災の津波のあとに整備されました。</p> <p>ここでは、手による田植えや、カマによる稲刈りといった、かつての稲作を体験したり、田んぼやビオトープで暮らすメダカやヤゴ、ミズアオイ、ガマといった希少な動植物を自分でとったり、観察することができる学習エリアとなっています。</p> <p>時期にもよりますが、大学の先生による環境や生き物の紹介や、稲作を体験していただくことができます。</p>
講師よりコメント	田んぼビオトープでの稲作や生き物観察では長靴で田んぼに入っても良いですが、素足で入るのも気持ちが良いです。
備考	